

一歩先の“主体的な学び”

<本資料をご覧の皆さまへのお願い>

本PDFは、2026年1月17日に株式会社COMPASSが開催したオンラインイベント「一歩先の“主体的な学び”」においてゲストの山本崇雄先生と蓑手章吾先生およびCOMPASSより発表した資料です。

※記載の情報はイベント開催時点のものです。

イベント参加者の皆様との情報共有のために展開させていただいているものですので、資料・資料内の情報の無断転載はご遠慮ください。

また、本セッションの様子はキュビナ公式Youtubeチャンネルに公開しています。PDF内でご紹介できない動画の内容もご確認いただけますのでぜひご覧ください。

https://youtu.be/D2s9ReMqd_w

※記載の情報、登壇者に関する情報はイベント開催時点のものです。

一歩先の“主体的な学び”

SESSION3 パネルディスカッション

次期学習指導要領改訂に向けて考える “主体的な学び”と“先生の役割”とは



横浜創英中学・高等学校
副校長

山本 崇雄 様



HILLOCK 初等中等部
創設・運営

蓑手 章吾 様

登壇者紹介



横浜創英中学・高等学校
副校長

山本 崇雄 様



HILLOCK 初等中等部
創設・運営

蓑手 章吾 様

モデレーター



株式会社COMPASS
未来教育室

板橋 和政

プログラム構成

次期学習指導要領改訂に向けて考える
“主体的な学び”と“先生の役割”とは

- 蓑手先生より実践紹介
- 山本先生より実践紹介
- トークセッション

一歩先の“主体的な学び”

ゲスト実践紹介

一歩先の“主体的な学び”

蓑手先生より 実践紹介

学校経営×授業改善セミナー



主体性を育む環境をどうつくるか —授業編—

ヒロック初等中等部
蓑手 章吾



◆調布市立調和小学校(245624)

- ・教師道場(国語)
- ・市教研(生活総合部)部長

◆杉並区立済美養護学校(中23小56)

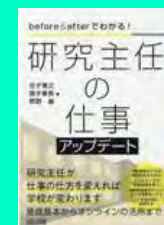
- ・特別支援免許を取得

◆小金井市立前原小学校(6656)

- ・大学院修士課程を修了
(人間発達科学)

◆HILLOCK初等部を創設(2022年4月)

- ・4校の総合運営
- ・世田谷校の初代スクールディレクター(校長)
- ・国立東京学芸大学2023年度非常勤講師
- ・文部科学省学校DX戦略アドバイザー
- ・文部科学省AI活用英語強化事業メンター
- ・デジタル庁デジタル推進委員



次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化

主体的・対話的で
① 深い学びの実装
(Excellence)

主に第2,3,4,6章

(生きて働く「確かな知識」の習得、資質・能力育成の具体化・深化、「好き」を育み「得意」を伸ばす、情報活用能力の抜本的向上、個別最適な学び・協働的な学び 等)

② 多様性の包摂
(Equity)

主に第3,7章

(調整授業時数制度、裁量的な時間、個別の児童生徒に係る教育課程の仕組み、デジタル学習基盤を活用した学習環境デザイン、個別最適な学び・協働的な学び 等)

生涯にわたって主体的に学び続け、
多様な他者と協働しながら、
自らの人生を舵取りすることができる
民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む

主に第5,7章

(授業時数の適正化・平準化、教科書の精選、構造化、裁量的な時間など様々な方策による教師・子供双方の「余白」の創出 等)

③ 実現可能性の確保
(Feasibility)

学びをデザインする高度専門職としての教師

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤

教育課程以外の勤務環境整備

主体性

自主性

—

「地獄への道は善意で敷き詰められている」



テストで点数をとってほしい

汎用的な知識に繋げてほしい

学び方を身につけてほしい

学びの楽しさを知ってほしい

礼儀やマナーも身につけてほしい



かられている」

で、数をとってほしい

実用的知識に繋げてほしい

につけてほしい

学びの楽しさを知ってほしい

マナーも身につけてほしい

教えすぎない





学びをデザインする高度な専門性

間違えても大丈夫な関係性
(正解なんてない、「そもそも正解って何?!」)

見取りと適切な足場かけ
(難易度調整を学習者に譲り渡していく)

成長実感を得られるシステム
(昨日より今日、今日より明日)

一歩先の“主体的な学び”

山本先生より 実践紹介

横浜創英の学校改革を 「3つの条件」で実装する — Excellence × Equity × Feasibility —

山本 崇雄

Takao YAMAMOTO



Distinguished Educator



1/17/2026

AI

プログラミング教育

国際理解教育

統計・データ活用（理数教育の充実）

主権者教育

情報活用能力・情報モラル

消費者教育

キャリア教育

金融経済教育

ESD／SDGs

探究的な学び

個別最適な学び／協働的な学び

STEAM教育

防災・安全教育

道徳（「考え、議論する道徳」）

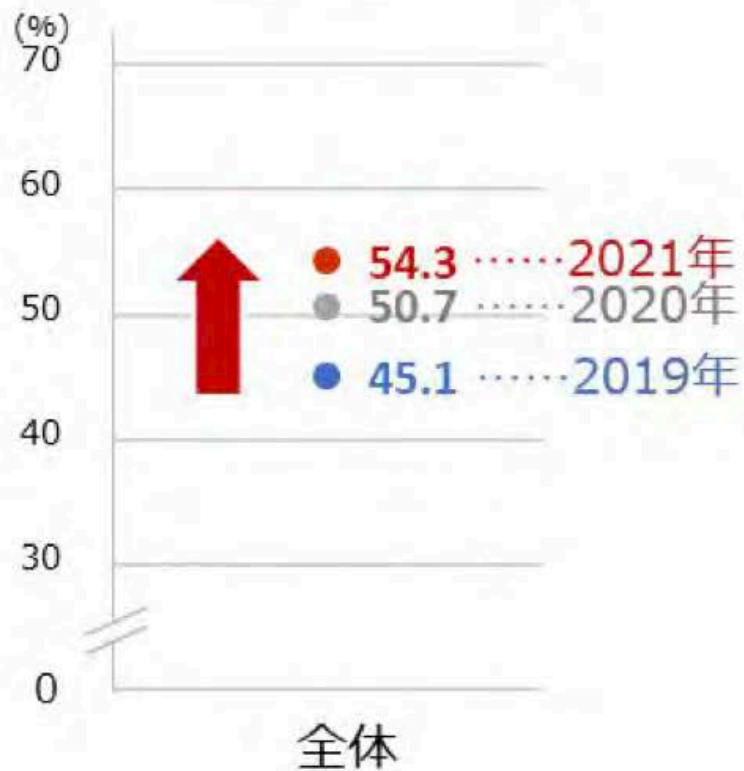
■図1 学習意欲の変化（2019年、20年、21年の比較）

ベネッセ・東京大学共同調査2022年

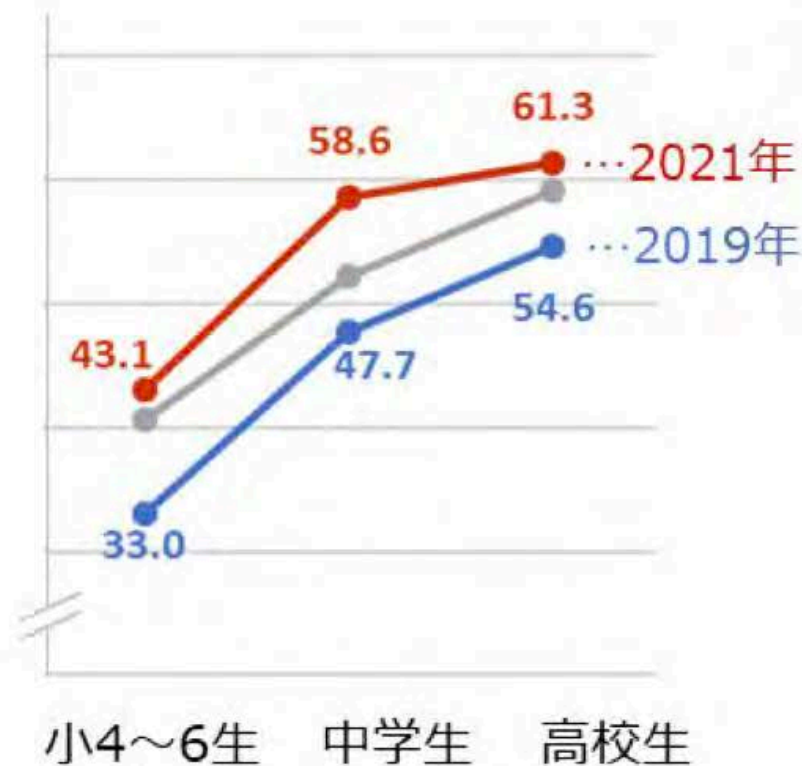
勉強しようという気持ちがわかない

「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」の合計（%）

全体



学校段階別



A young woman with dark hair, wearing a light blue school uniform, is sleeping at her desk in a classroom. She is resting her head on her arms, which are crossed on a tablet device. Other students in similar uniforms are visible in the background, some looking down at their work. The classroom has large windows on the right side, letting in natural light.

勉強は与えられるもの



“馬を水辺に連れて行くことはできても、
水を飲ませることはできない。”

You can lead a horse to water, but you can't make it drink.



横浜創英の学校改革



横浜創英の学校改革

建学の精神 since 1940

「考えて行動のできる人」の育成

最上位目標

- ① 当事者意識を育てつつ「学び」「学校運営」を生徒主体に移譲
- ② 実学的な学びで生徒と社会をつなぎ、社会に貢献できる人材育成

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



学び方改革

生徒の主体性を
育む授業へ

3

最終ゴール



カリキュラム

改革

新しい時間割の
枠組みを構築
環境設計

2



働き方改革

業務を見直し
教師の時間を創出

1

議論の土台

学びをデザインする高度専門職として

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程

デジタル学習基盤

教育課程以外の勤務環境整備



働き方改革

業務を見直し
教師の時間を創出

議論の土台

持続可能な学校改革

①最上位目標の合意

②働き方改革

4項目14事項の改革

分掌改革⇒目標達成のための意思決定重視

・マネジメント

教務、総務、キャリア支援、入試広報

・生徒支援協議会（学年主任）

会議改革⇒16:30に帰れる職場

③新しい教育に対する対話の時間の創出



カリキュラム 改革

新しい時間割の
枠組みを構築
環境設計

当事者意識を育てつつ「学び」「学校運営」を
生徒主体に移譲



生徒一人ひとりが目標達成のために
「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どうやって」
学ぶかを自己決定する仕組みを整える



主体性を育む軸となる考え方



エンゲージ
メント

AAR学習サイクル

ANTICIPATION 見通しを持つ
ACTION 行動する
REFLECTION 振り返る

アウトプット

自立

戦略的学習力

目標設定

個人目標

生徒個人が自分で設定した目標
生徒それぞれに発見 / 確立してほしい独自の内容
自分の特性やより大きな目標に応じた学びのスタイルや
ゴール、教科を学ぶ意味

共通目標

教師が設定した目標
単元目標、テスト範囲など
生徒全員に身につけてほしい知識やスキル

DE & I

DIVERSITY 多様性
EQUITY 公平性
INCLUSION 包括性

PUBLIC RELATIONS

倫理観（誰も取り残さない）
双方向コミュニケーション
自己修正

自律

メタ認知

今の
自分

What
何を

Who
誰と

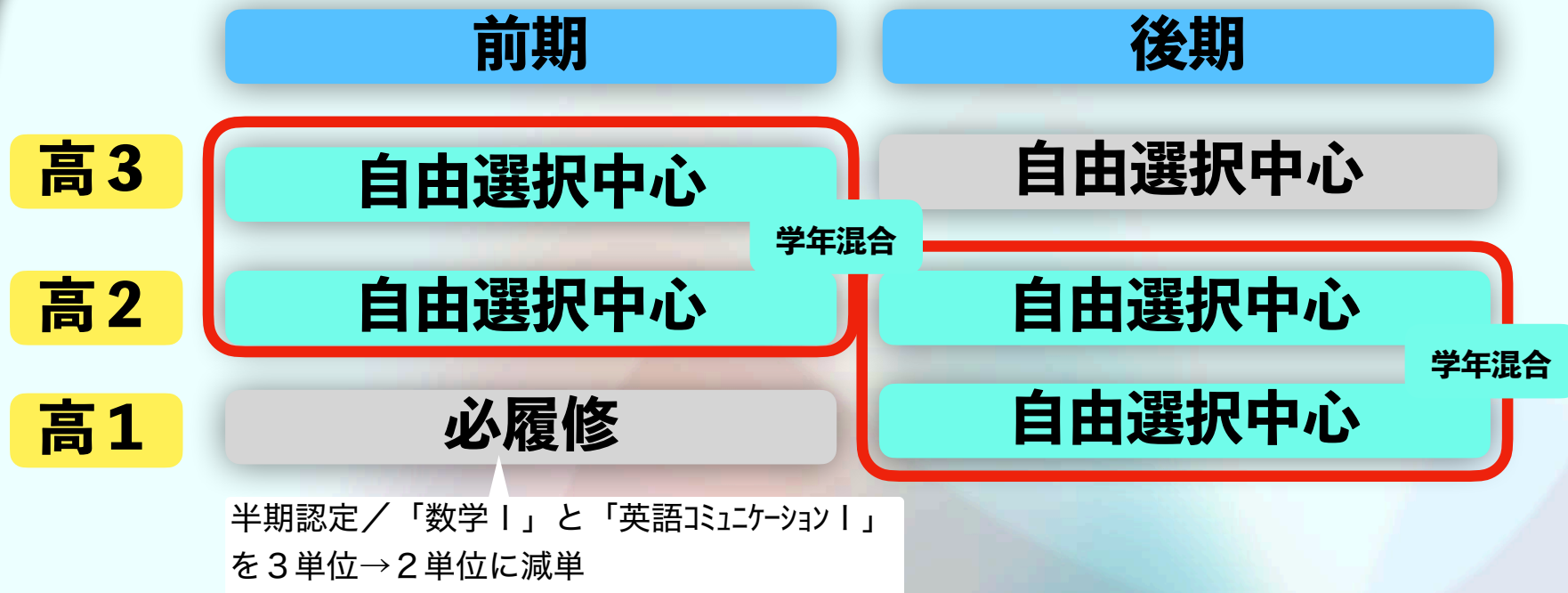
How
どうやって

Where
どこで

自己決定

プロセス重視

- * できていることを知る
- * できていないことを知る
- * 目標に向けて適切な手段を知る



卒業に必要な単位＝74単位
必修修科目単位＝35単位
学校外における学修の単位認定＝36単位

選択を繰り返すカリキュラム

コースの違いは、探究の時間の学び方にあります。その他の教科学習はコースや学年を超えて「自分の時間割」を学びます。

サイエンスコース（中高一貫）

問題発見解決型の探究。

身近な疑問や社会の課題から自らテーマを見つけ、探究を進めていきます。仮説を立て、検証する——そうした科学的な思考プロセスを大切にしながら、深く考え、答えを導く力を育てます。

グローバルコース（中高一貫）

課題設定解決型の探究。

あらかじめ設定された課題に対して、仲間と協働しながら解決策を探る学びです。世界に視野を広げ、多様な価値観を尊重しつつ、対話を通してよりよい答えをつくり出す探究活動を行います。

特進フロンティアコース（高校入学）

対話創造解決型の探究。

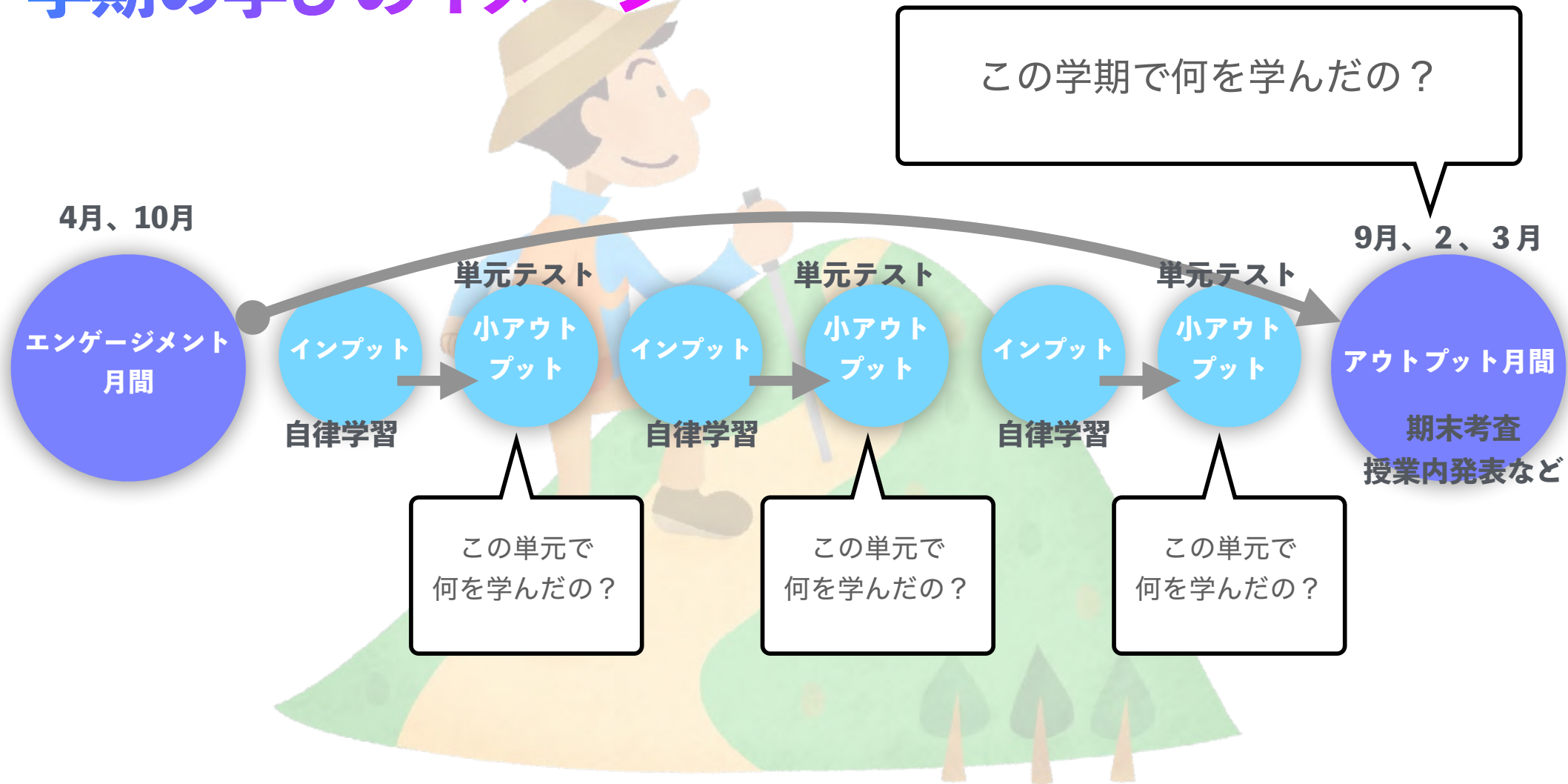
高校1年で探究の学び方の基礎を身につけ、高校2年以降は自らテーマを設定。対話を重ねながら新たな価値や解決策を創り出し、これからの社会を創造し、切り拓く力を育てます。



カリマネ（カリキュラムマネジメント）

横浜創英では、常に「なりたい自分」を意識しながら、主体的に学ぶ力を育てる仕組みとして、カリマネを導入しています。自分の夢や目標をもとに、次の学期に「何を学ぶか」を自ら考え、自由選択科目を選択。その自己決定を繰り返しながら、世界に一つだけの“自分の時間割”をつくり上げていきます。

学期の学びのイメージ



令和7年度 前期予定表

エンゲージメント月間

アウトプット月間

4月				5月				6月				7月				8月				9月						
日	曜	高3	高12・中全	会	日	曜	高3	高12・中全	会	日	曜	高3	高12・中全	会	日	曜	高3	高12・中全	会	日	曜	高3	高12・中全	会		
1	火				1	木				1	日				1	火	期末試験	(AM)50分×3限 (PM)45分×3限		1	金	夏期講座Ⅰ (7/28~8/1)	1	月	LHR	
2	水				2	金	(AM)50分×4限 ※3~6限 (PM)色別集会②	支 ②	2	月					2	水		(AM)50分×3限 (PM)45分×3限		2	土		2	火		
3	木				3	土	憲法記念日		3	火		学	3	木		3	木	(AM)50分×3限 (PM)45分×3限		3	日		3	水	中2: 4C&M	
4	金				4	日	みどりの日		4	水	マーク模試		4	金		4	金	(AM)50分×3限 (PM)45分×3限	部	4	月	夏期講座Ⅱ	4	木		
5	土	職員出勤日		学部	5	月	こどもの日		5	木	(AM)50分×4限 ※1~4限 (PM)色別集会③		5	土	追試験	平常授業		5	火		5	金	駿河 マーク模試	平常授業	学力推移	部
6	日				6	火	振替休日		6	金		部	6	日		6	水			6	土					
7	月	前期開始 始業式			7	水			7	土	高1:職業講話 (2-3限)		7	月	平常授業	ブ	7	木		7	日					
8	火	自宅学習日	入学式		8	木			8	日			8	火	中:LHR 高:進研模試	主 支 ①	8	金		8	月	午前授業 50分×3限 ※4~6限	期末試験	午前授業 50分×3限 ※4~6限		
9	水	(AM)LHR 個人写真撮影 (PM)部活動紹介		学	9	金	(時間割調整日) 火曜日時間割		9	月	高3: 進路面談	中・高12: 三者面談	9	水	平常授業		9	土	中 学校説明会③	9	火	午前授業 50分×3限 ※4~6限		午前授業 50分×3限 ※4~6限		
10	木	高2:ｽﾀｼﾞｱ 高3:LHR 中23:学力推移調査	高1:ｽﾀｼﾞｱ+LHR 中1:学力推移調査		10	土	高1: 学年保護者会		10	火	40分×4限 ※3~6限	40分×4限 ※3~6限	10	木	平常授業		10	日		10	水	午前授業 50分×3限 ※4~6限		期末試験		
11	金	授業開始		教	11	日	中 学校説明会①		11	水			11	金	平常授業	校	11	月	山の日	11	木	午前授業 50分×3限 ※4~6限				
12	土				12	月			12	土			12	土	平常授業		12	火		12	金	自宅学習日				



学び方改革

生徒の主体性を
育む授業へ

最終ゴール

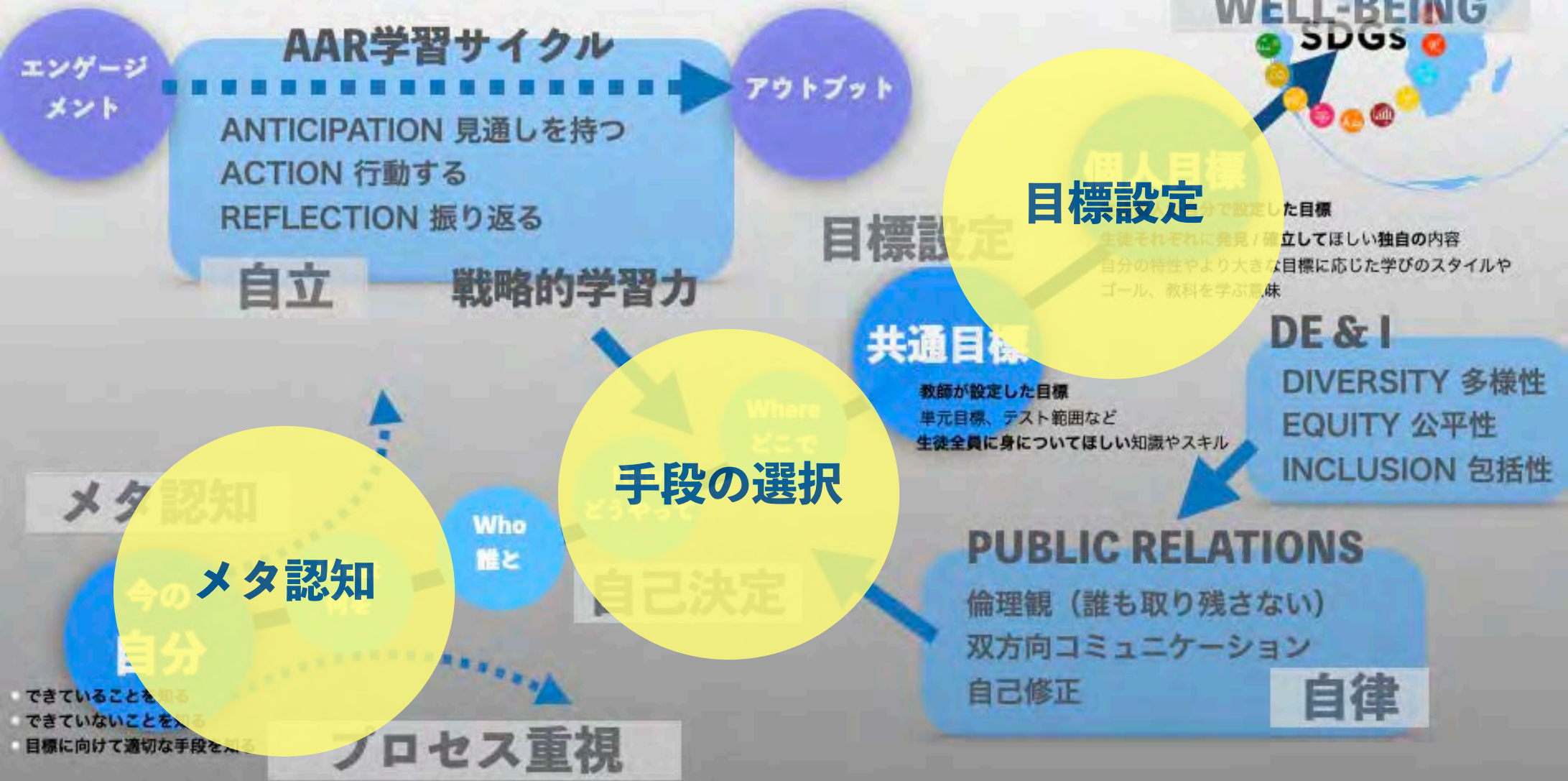
主体的：自ら問い、見通しを持ち、振り返りながら学ぶ
対話的：友だちや教師、教材との対話を通して、思考を
広げる

深い学び：知識・技能を関連づけ再構成し、自分の考え
をつくり、課題解決・創造へ



生徒一人ひとりが目標達成のために
「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どうやって」
学ぶかを自己決定する授業形態を工夫する

主体性を育む軸となる考え方



主体性を育む軸となる考え方

ゲージ
ント

AAR学習サイクル



アウトプ

ANTICIPATION 見通しを持つ

ACTION 行動する

REFLECTION 振り返る

自立

戦略的学習力



2025 2-A 英語 後期 スケジュール

Lesson 5.6.7.8

			クラスでの授業（月・金）	中1～3 縦割り・自律学習（水・木）			
			学習内容	Native	Berlitz	プログラミング	先生が教える部屋
4	木		中1との合同プレゼン発表（2）グリーンホール				
5	金						
8	月		パフォーマンステスト③（1）				
10	水		昼休み：Lesson 6 単元試験 再チャレンジ	○		○	○
11	木		中1との合同プレゼン発表（3）グリーンホール				
12	金		パフォーマンステスト③（2）				
15	月		パフォーマンステスト③（3）				
17	水		Lesson5と6 音読チャレンジ締め切り	○	○	○	○

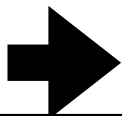
メインメニュー

- ホーム
- カレンダー
- 指導科目
- チェックが必要な課題
- 2025 中学3年生（全体）
- TikTokプロジェクト
- 登録科目
- ToDo
- 2025高3日本史探究（相賀クラ...
- アーカイブされたクラス

ストリーム 授業 メンバー

1 5 - 5 本文チェック動画	投稿日: 2024/11/
1 5 - 4 本文チェック動画	最終編集: 2024/11/
1 5 - 3 本文チェック動画	投稿日: 2024/11/
1 5 - 2 本文チェック動画	最終編集: 2024/11/
1 5 - 1 本文チェック動画	最終編集: 2024/11/
1 4 - 7 授業動画・本文チェック動画	投稿日: 2025/10/0
1 4 - 5 授業動画・本文チェック動画	最終編集: 2025/10/0
1 4 - 4 授業動画・本文チェック動画	最終編集: 2025/09/

Start



教科書

単語、文の意味が分かる
Lesson 8 Get 1

自分

先生

教科書

教科書を見て音読
Lesson 8 Get 1

自分

先生

教科書

絵を指差し音読
Lesson 8 Get 1

自分

先生

教科書

単語、文が書ける
Lesson 8 Get 1

自分

先生

教科書

単語、文の意味が分かる
Lesson 8 Get 2

自分

先生

教科書

教科書を見て音読
Lesson 8 Get 2

自分

先生

教科書

絵を指差し音読
Lesson 8 Get 2

自分

先生

教科書

単語、文が書ける
Lesson 8 Get 2

自分

先生

教科書

単語、文の意味が分かる
Lesson 8 Read

自分

先生

教科書

教科書を見て音読
Lesson 8 Read

自分

先生

教科書

単語、文が書ける
Lesson 8 Read

自分

先生

教科書

単語、文の意味が分かる
GET Plus 6

自分

先生

教科書

友達とロールプレイ
GET Plus 6

自分

先生

Project

下書き

自分

先生

Project

発表できる

自分

先生

Qubena

中1 Cando 18

自分

先生

Qubena

中1 Cando 19

自分

先生

Qubena

中1 英文法10
疑問詞

自分

先生

Qubena

中2 英文法1
will / be going to

自分

先生

Qubena

中1 Cando 2
look

自分

先生

英検

内容は自分で書く

自分

先生

英検

内容は自分で書く

自分

先生

英検

内容は自分で書く

自分

先生

その他

内容は自分で書く

自分

先生

その他

内容は自分で書く

自分

先生

その他

内容は自分で書く

自分

先生

その他

内容は自分で書く

自分

先生

その他

内容は自分で書く

自分

先生

Goal

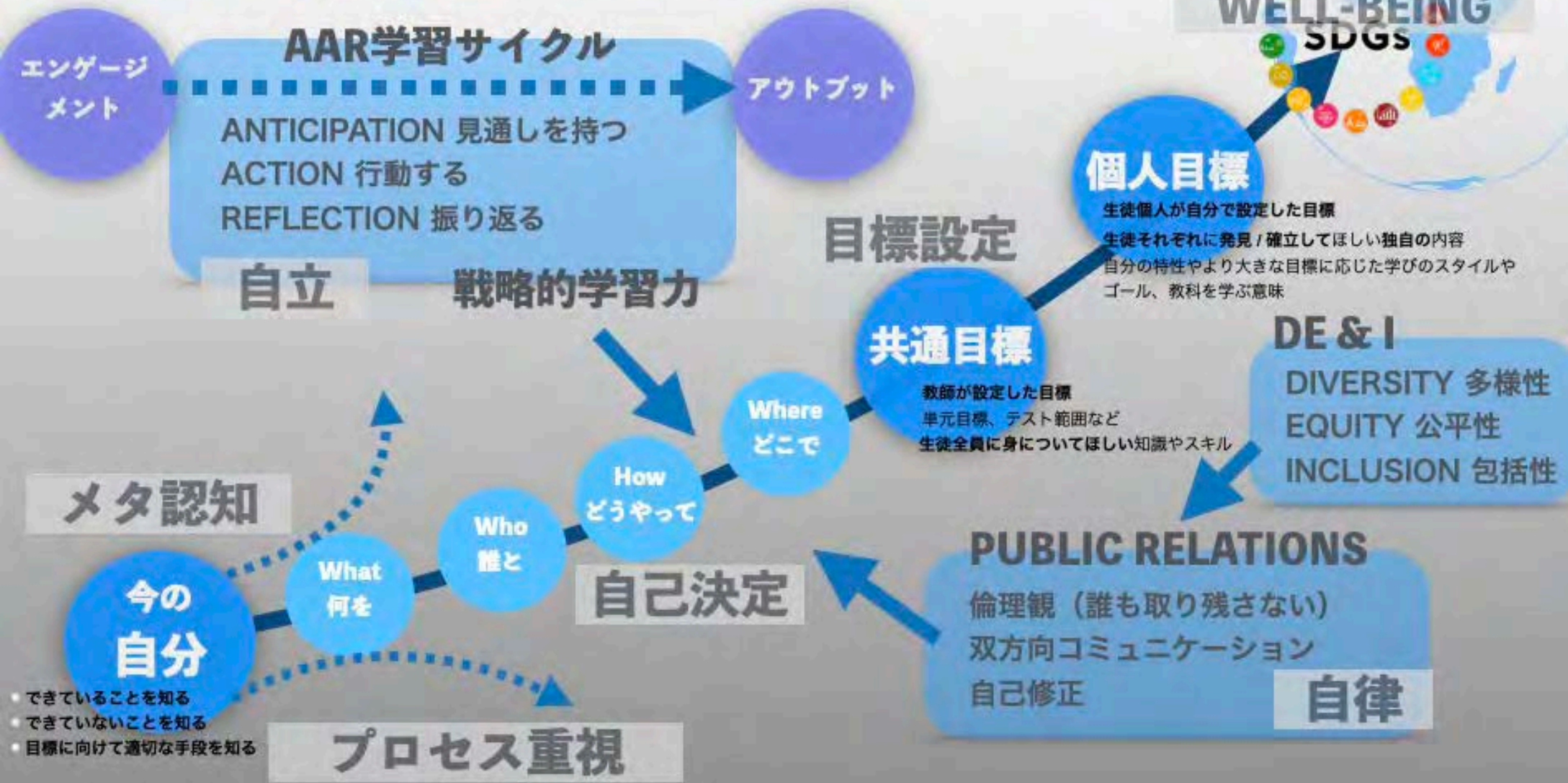
今学期の学びは完了！

自分

先生

1年__組__番
氏名_____

主体性を育む軸となる考え方



共通目標

教師が設定した目標
単元目標、テスト範囲など
生徒全員に身につけてほしい知識やスキル

DE & I

DIVERSITY 多様性

EQUITY 公平性

INCLUSION 包括性

PUBLIC RELATIONS

倫理観（誰も取り残さない）

双方向コミュニケーション

自己修正

自律

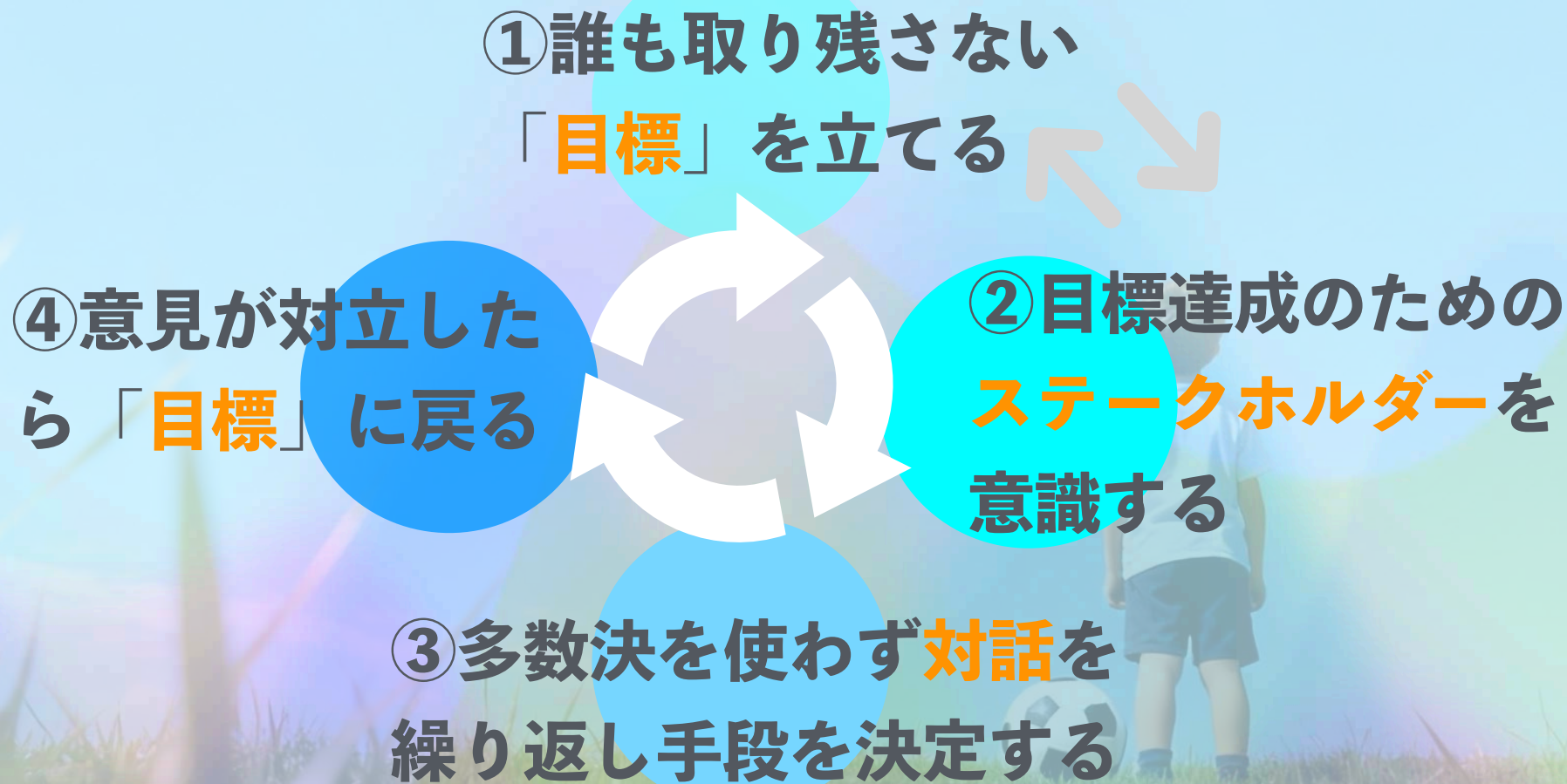


文化祭の出し物の話し合い
屋台（焼きそば） 8割

VS

ミュージカル 2割

パブリックリレーションズを取り入れた対話の手順





DE & I

特異な才能の
ある子供

0.8人
(2.3%)

発達障害の
可能性のある子供※

3.6人
(10.4%)

不登校

0.5人
(1.3%)

不登校
傾向

4.1人
(11.8%)

教室の中の多様性
小学校35人学級の場合



家にある本の冊数が
少なく学力の低い
傾向が見られる子供

10.4人
(29.8%)

日本語を家で
あまり話さない子供

1.0人
(2.9%)

DE & I

diversity 多様性
equity 公平性
inclusion 包括性

最大多数の最大幸福 → 最大多様の最大幸福

特異な才能の

0.8人
(2.3%)

発達障害の
可能性のある子供※

3.6人
(10.4%)

0.5人
(1.3%)

4.1人
(11.8%)

家にある本の冊数が
少なく学力の低い
傾向が見られる子供

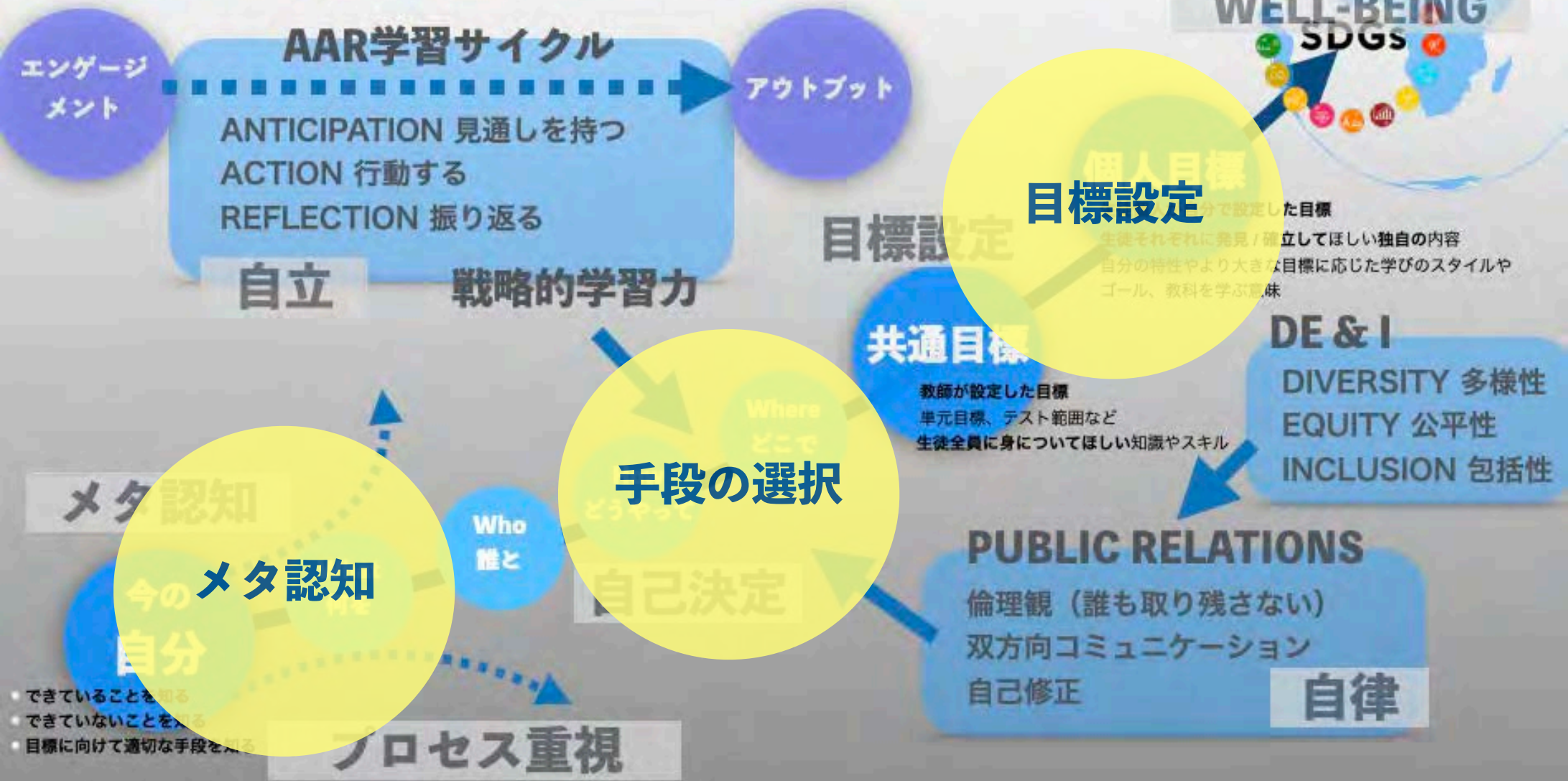
10.4人
(29.8%)

日本語を家で

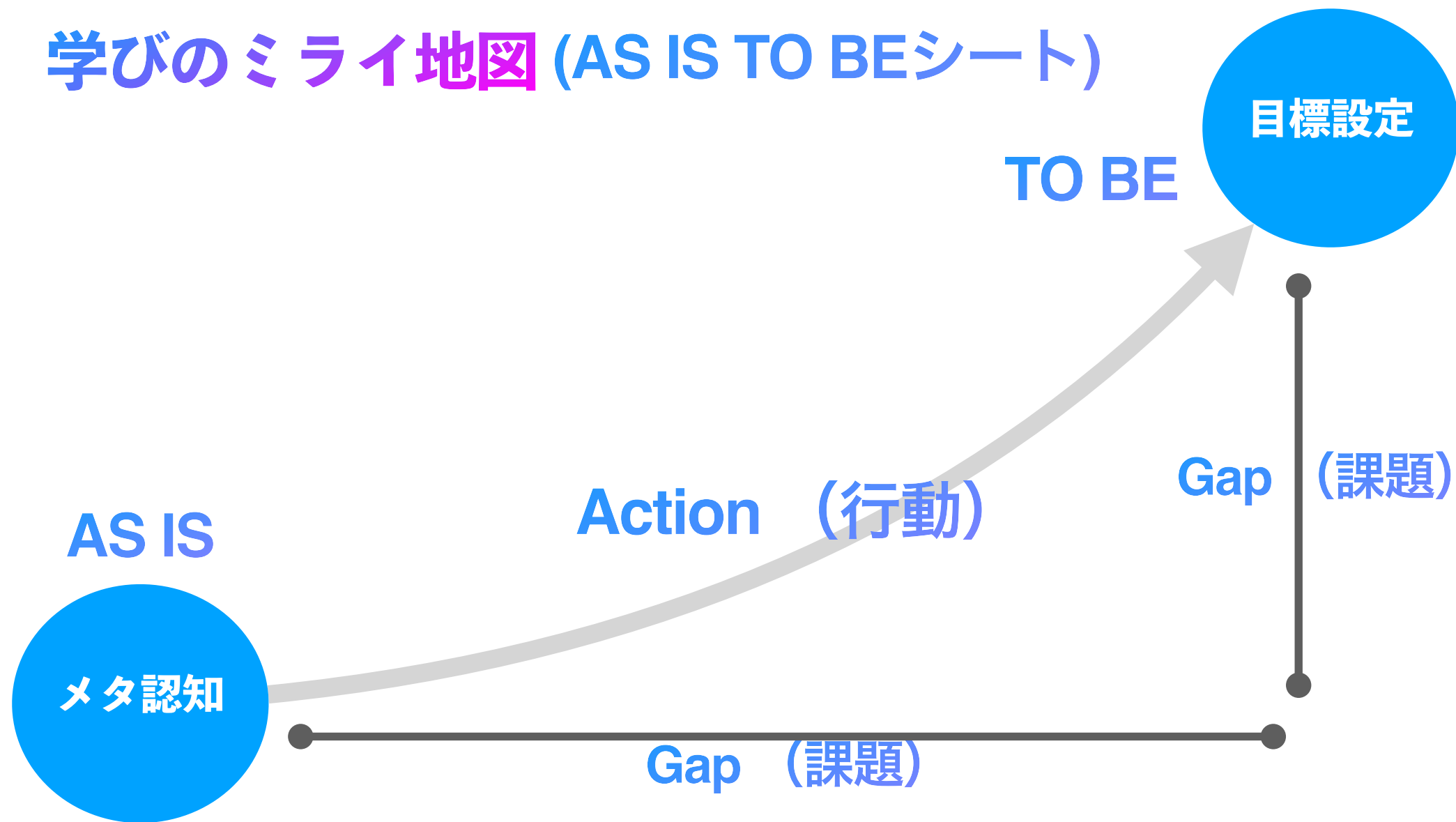
話さない子供

1.0人
(2.9%)

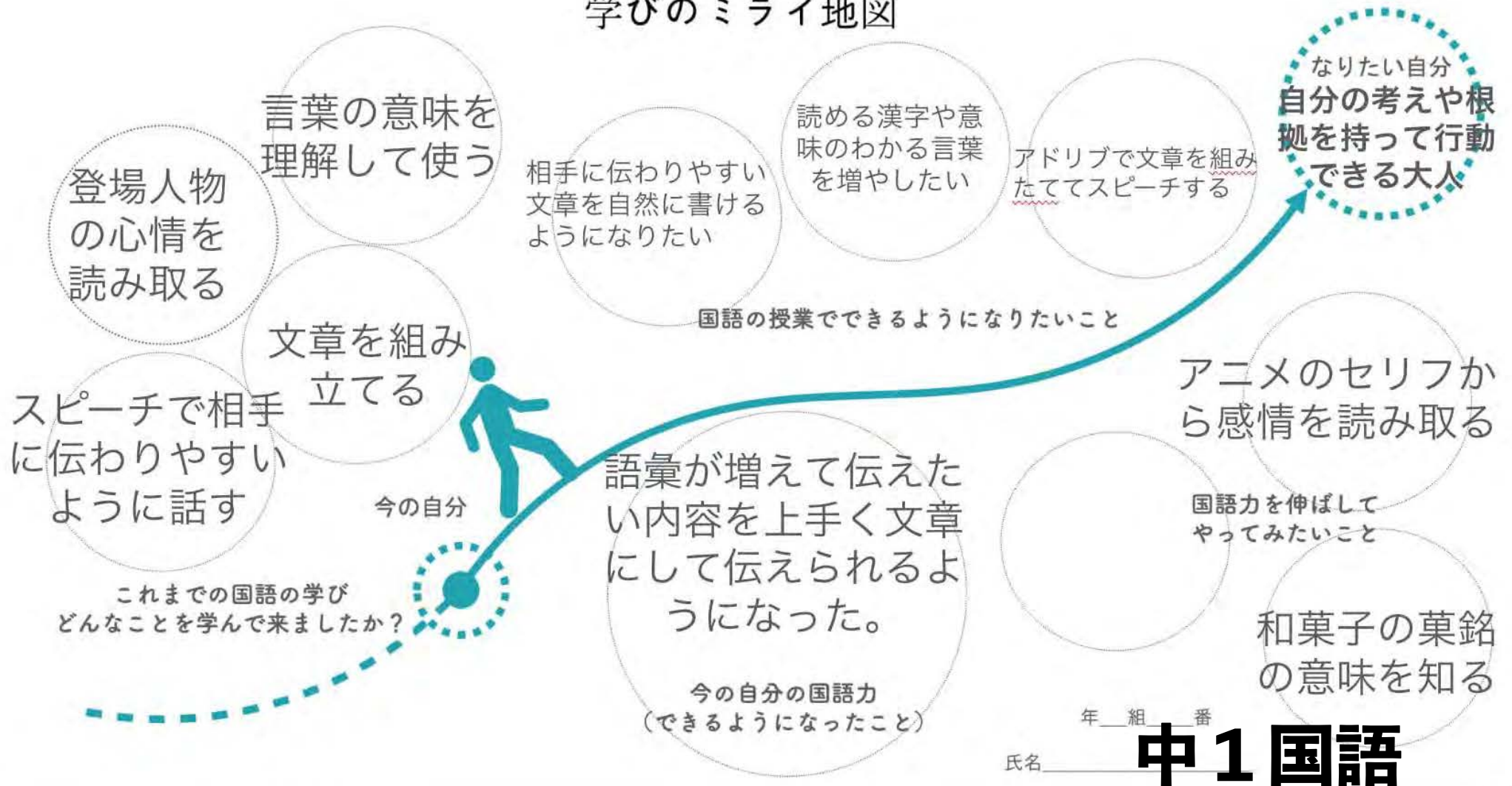
主体性を育む軸となる考え方



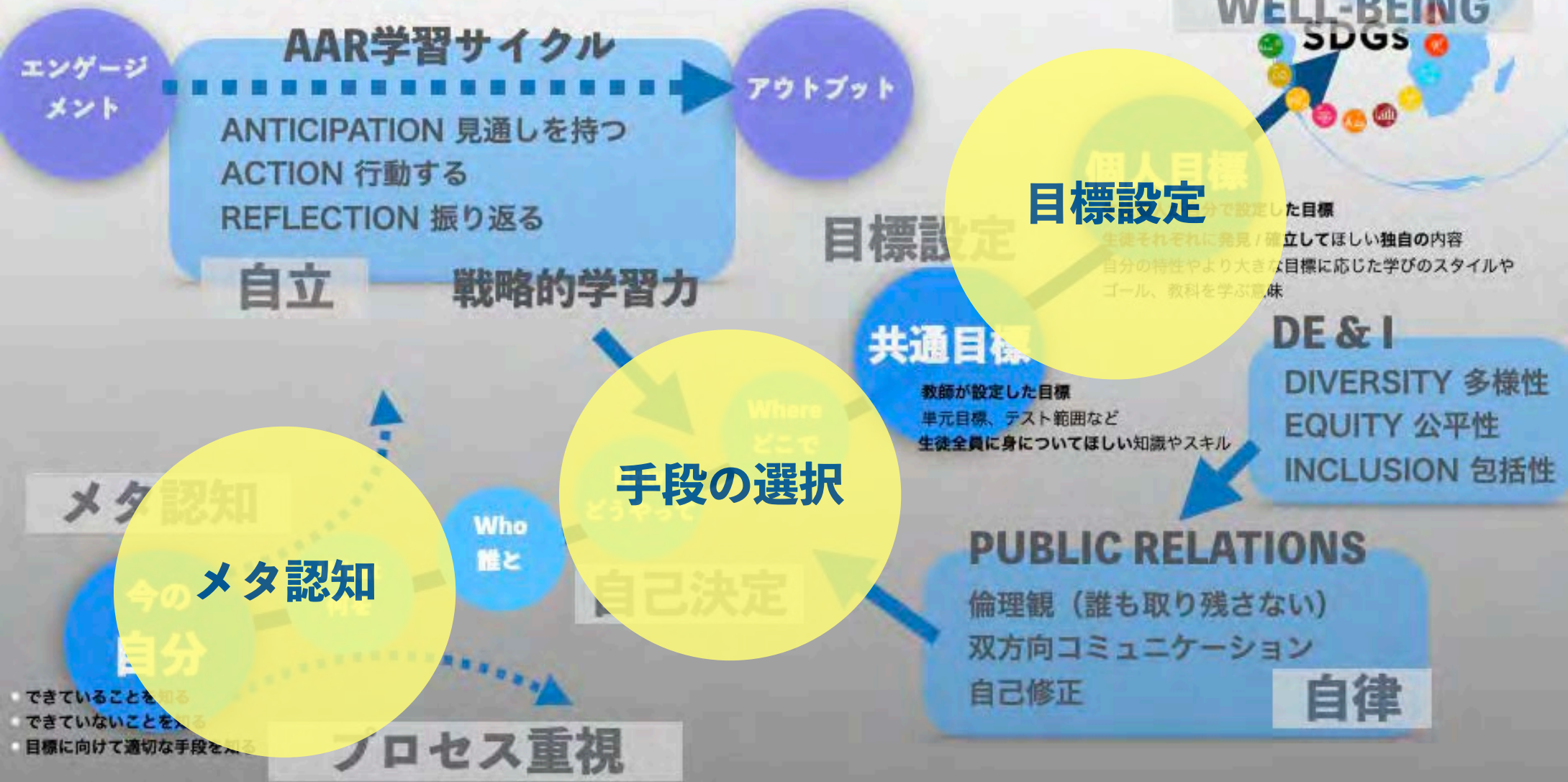
学びのミライ地図 (AS IS TO BEシート)



学びのミライ地図



主体性を育む軸となる考え方



メタ認知

目標達成のために
何ができて、
何ができないか。

手段の選択

「できない」を
「できる」に変える
手法は何か。



先生から学ぶ



個で学ぶ(AI、問題集)



教え合いながら学ぶ



「何を」「誰と」「どのように」「どこで」学ぶかを自己決定する

英会話を学ぶ



プログラミングで学ぶ



マイクラフトで学ぶ



英語科の例

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



あらゆる方策を活用し、三位一体で実現



カリキュラム

改革

新しい時間割の

枠組みを構築

環境設計

2

学び方改革

生徒の主体性を
育む授業へ

3

最終ゴール

生涯にわたって主体的に学び続け

多様な他者と協働しながら、

自らの人生を航することが出来る

民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



働き方改革

業務を見直し
教師の時間を創出

主に第3,7章

(授業時数の適正化、裁量的な時間と様々な方策による教師・子供双方の「余白」の創出等)

1

学びをデザインする高度専門職として

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程

議論の土台

デジタル学習基盤

教育課程以外の勤務環境整備

“馬を水辺に連れて行くことはできても、
水を飲ませることはできない。
でも、水場を整えれば
必ず自分で水を飲むようになる”

You can lead a horse to water, but you can't make it drink.
But if you furnish the watering place,
they will surely drink on their own.

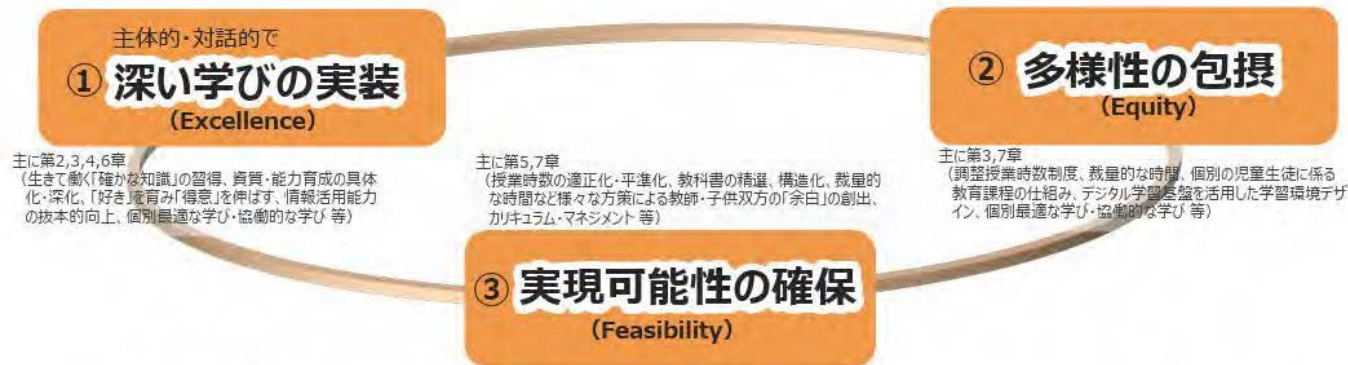
一歩先の“主体的な学び”

トークセッション

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

補足イメージ1-①

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



学びをデザインする高度専門職としての教師 デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白 総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、
自らの人生を舵取りすることができる 民主的で持続可能な社会の創り手 をみんなで育む

テーマ1

主体的・対話的で深い学びの実装 (Excellence)

主体的・対話的で深い学びの実装（Excellence）

主体的： 自ら問い、見通しを持ち、振り返りながら学ぶこと

対話的： 友だちや教師、教材との対話を通して思考を広げること

深い学び： 知識・技能を関連づけて再構成し、
課題解決や創造につなげること

主体的・対話的で深い学びの実装（Excellence）

**「主体的・対話的で深い学び」の実践において
子どもたちにどのように自由を委ねるか？**

学びをデザインする高度な専門性

間違えても大丈夫な関係性
(正解なんてない、「そもそも正解って何?!」)

見取りと適切な足場かけ
(難易度調整を学習者に譲り渡していく)

成長実感を得られるシステム
(昨日より今日、今日より明日)

主体的・対話的で深い学びの実装（Excellence）

**学校全体で「主体的・対話的で深い学び」
を実装するための
組織としての支援や文化づくりとは？**

①最上位目標の合意

②働き方改革

4項目14事項の改革

分掌改革⇒目標達成のための意思決定重視

・マネジメント

教務、総務、キャリア支援、入試広報

・生徒支援協議会（学年主任）

会議改革⇒16:30に帰れる職場

③新しい教育に対する対話の時間の創出



働き方改革

業務を見直し
教師の時間を創出

議論の土台

持続可能な学校改革

主体的・対話的で深い学びの実装（Excellence）

子どもたちの「主体性」
をどう見取るか？

学びをデザインする高度な専門性

間違えても大丈夫な関係性
(正解なんてない、「そもそも正解って何?!」)

見取りと適切な足場かけ
(難易度調整を学習者に譲り渡していく)

成長実感を得られるシステム
(昨日より今日、今日より明日)

主体的・対話的で深い学びの実装（Excellence）

「主体的・対話的で深い学び」 における探究学習の役割について

COMPASSの探究学習プログラムについて

教科単元と実社会が紐づくテーマを題材にした探究学習プログラムを
企業パートナー様連携のもと、学校・先生向けに無償でご提供しています。



テーマ 2

多様性の包摂 (Equity)

多様性の包摂（Equity）

**多様な理解度・興味・特性の子どもたちが
ともに・自分らしく学べる学びのデザインとは？**

多様性の包摂（Equity）

**「多様性の包摂」を学校として実現するための
学校経営のありかたとは？**

**カリキュラム
改革**

新しい時間割の
枠組みを構築
環境設計

当事者意識を育てつつ「学び」「学校運営」を
生徒主体に移譲



生徒一人ひとりが目標達成のために
「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どうやって」
学ぶかを自己決定する**仕組みを整える**

テーマ 3

実現可能性の確保 (Feasibility)

実現可能性の確保（Feasibility）

**多忙な学校現場で
「主体的・対話的で深い学び」や「多様性の包摂」を
継続的に実現するには？**

実現可能性の確保（Feasibility）

**新しい学びのかたち・実践を
学校全体に根づかせるために、
組織として注意すべきポイントは？**



働き方改革

業務を見直し
教師の時間を創出

議論の土台

持続可能な学校改革

①最上位目標の合意

②働き方改革

4項目14事項の改革

分掌改革⇒目標達成のための意思決定重視

- ・マネジメント

教務、総務、キャリア支援、入試広報

- ・生徒支援協議会（学年主任）

会議改革⇒16:30に帰れる職場

③新しい教育に対する対話の時間の創出

**主体的な学びの実現に向けて、
生成AIをどのように活用すべきか？**

参加者の皆さんへ メッセージ

一歩先の“主体的な学び”

次期学習指導要領改訂に向けて

これからの“主体的な学び”のためにできること